

農業体験への参加による人の交流 と荒廃農地の解消

令和8年3月

～たんぼの楽耕（河合町）～

河合町外からも参加

河合町は、奈良市から約20キロメートル、大阪市から約25キロメートルの圏内であるため、交通の便が良いことから1960年代後半からのニュータウン開発等で農地等の宅地化が進んできました。

農業は都市近郊型で、兼業農家が多く、農業者の高齢化及び後継者不足により、荒廃農地が増加しています。

河合町は、平成27年から増え続けている荒廃農地を有効活用するため、たんぼの楽耕を開始し、町内外から参加者を募って農業委員や地元農家等の指導のもと、農業体験ができる取組を行っています。

例年、参加者は40から50名程の規模となっています。



田植えの様子

初心者向けから実践的な農業体験まで選べる

参加初年度には「一般体験コース」に参加し、2年目以降は「一般体験コース」だけでなく「独立畑コース」と「本格的な米コース」も選択することができます。

・一般体験コース

月に2、3回、米、玉ねぎ、黒枝豆等の10種類以上の作物について、参加者全員の共同作業により主に、種まき・植付けと収穫作業を行います。

参加者は、共同作業以外にも、草刈りや水やり等のほ場管理を自主的に行います。

・独立畑コース

参加者が自分で選択した作物を、割当てられた耕作地で栽培します。

「一般体験コース」も重複して参加することができるので、栽培に必要なアドバイス等は、一般体験コースに参加した時に農業委員等から受けることができます。

・本格的な米コース

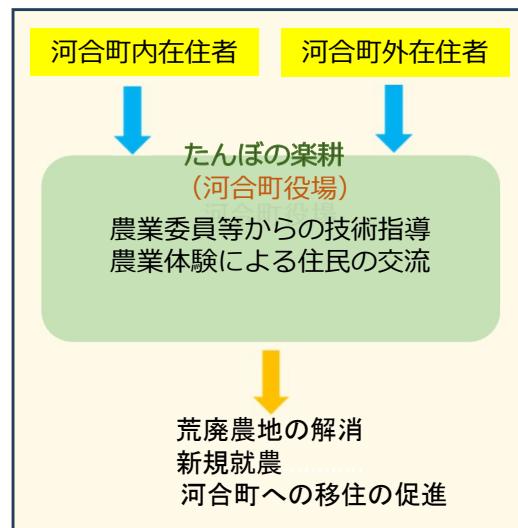
参加者は割り当てられた耕作地で農業委員等の指導のもと、黒枝豆と水稻の苗づくりから脱穀までの作業を一通り行います。



農業後継者育成と移住促進に繋がれば

たんぼの楽耕は、家族で参加し、子どもと一緒に農業を楽しんでもらうとともに、女性や定年退職された方、他に仕事をしている方を含めて、就農に前向きな人を支援して、農業の後継者不足が少しでも解消されればとの思いで取り組んでいます。

また、町外在住者の参加を増やし、お互いの交流を深め河合町の魅力を感じてもらうことで、町外からの移住に繋がることを期待しています。



河合町では、これまでにたんぼの楽耕の活動により、約62アールの荒廃農地を解消し、また、参加者2人が新規就農することで農地約43アールの貸付けを行いました。



たんぼの楽耕のみなさん

【問合せ先】河合町まちづくり推進部建設課農林係 TEL 0745-57-0200

<https://www.town.kawai.nara.jp/kakuka/machizukuri/3/665.html> (外部サイトリンク)